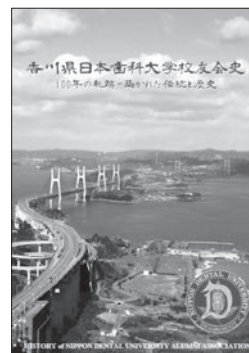


平成29年度 香川県校友会定時総会



記念誌『100年の軌跡―築かれた伝統と歴史』

平成30年6月16日（土）に平成29年度香川県校友会定時総会が、JR ホテルクレメント高松にて開催されました。

総会に先立ち、高橋靖之新潟病院歯科麻酔・全身管理科講師（80回）をお迎えして、「安全な有病者の歯科治療のために～歯科医院での危機管理～」と題して学術講演があり、偶発症を未然に防ぐポイントを教えていただきました。

総会は21名の会員が参加し、松岡利安県校友会会長（66回）の開会の辞で始まり、河田耕治県校友会会長（64回）の挨拶、そして来賓の藤井重壽校友会本部副会長（62回）のご挨拶と続きました。議長は佐々木正美会員（62回）が務め、各事業の報告があり、そのひとつに西原実男県校友会副会長（74回）から、「明治から平成にかけての100年間の香川県日本歯科大学校友会の歴史を編纂した記念史『100年の軌跡―築かれた伝統と歴史』発刊の経緯」などの説明があり、感銘を受けました。次に、平成28年度の決算および監査報告と平成29年度の会計概

算報告、平成30年度の事業計画と予算案が協議され、いずれも承認され、川崎恵美子県校友会副会長（65回）の閉会の辞で終了しました。

その後記念写真を撮影し、来賓に香川県歯科医師会より豊嶋健治会長と藤本幸重専務理事、そして記念史でお世話になった新日本印刷の増田啓次営業本部長をお迎えして懇親会が開催され、学生時代の懐かしい話で盛り上がりしました。まだまだ話し足りず、高松市内の繁華街に移動して二次会へと続きました。

翌日は鮎滝カントリークラブにて親睦ゴルフ大会があり、佐々木会員がみごと優勝されました。

（武田聡史・84回記）



総会



懇親会